

平成20年度 道徳部 研究活動のまとめ

南丹・船井小学校教育研究会

《研究主題》 学校全体で取り組み、児童の心に響く道徳授業 ～ 人間としてよりよく生きるための基礎・基本を育てる ～

第 一 回	日時	平成20年7月2日（水） 13：40～16：30
	会場	南丹市立園部第二小学校
	研究の概要	◎研究授業、事後研修 第5学年 『自分の弱さを乗り越えて』正義・勇気（1-④） ◎テーマ研修 《明日へのとびらは開いているか ―子どもと人生を語る授業―》 講師 京丹波町立桧山小学校教頭
第 二 回	日時	平成20年10月8日（水） 13：45～16：30
	会場	京丹波町立竹野小学校
	研究の概要	◎研究授業、事後研修 第2学年 『人を思いやる心、人とのつながり』思いやり（2-②） ◎テーマ研修 《「児童の心に響く道徳授業とは」の主題設定に迫るため、総合単元的道徳学習の実践の交流を通し、高め合う。》 実践発表（殿田小学校）

<p>本年度の研究で明らかになった内容</p>	<p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度も、授業研究では資料「京の子ども 明日へのとびら」を活用し、授業の進め方を深めることができた。 ・資料提示をパワーポイントを用いたり、教科の学習とタイアップした授業作り等、児童の資料理解に効果的な工夫が見られた。 ・総合単元的道徳学習について、実践発表を中心に交流し合い深めることができた。 ・指導要領改訂に関連した中での今日的な道徳教育の進め方や今後の方向性を聞かせてもらうことができた。 <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内年間計画の見直し ・総合単元的道徳学習のあり方の深化 ・「京の子ども 明日へのとびら」の活用の充実 <p>(3) その他</p> <p>本年度の研究を通して確認できたことは次の通りである。</p> <p>心に響く道徳授業を目指すために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が身近で体験したことや興味を持つ資料の精選 ・資料提示の工夫 ・友達を認め合い、何でも言い合える学級づくり ・児童の「つぶやき」をうまく受け止め、ほめる授業
<p>来年度への研究課題</p>	<p>(1) 「道徳教育推進教師」の役割について</p> <p>(2) 研究主題《学校全体で取り組み、心に響き道徳授業》の一層の具現化と「総合単元的道徳学習」の時間の工夫・改善</p> <p>(3) 「京の子ども 明日へのとびら」の活用について</p> <p>(4) 児童の「道徳性」に関わる実態把握と各校における指導の交流、道徳における「個に応じた指導」の工夫や実践</p> <p>(5) クラスの実態を見据えた「道徳年間指導計画」及び、魅力的な道徳資料・教材等の選定と制作</p> <p>(6) 学校・家庭・地域・校種間の連携や協力を生かした道徳教育</p>
<p>その他の研究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度 府小研道徳教育研究会 場 所 綾部市立西八田小学校 実施日 10月28日 支部参加者 7名 ・平成26年度府小研道徳教育研究会（南船支部開催予定）